

たけのうち便り Vol.61

平成28年3月15日発行

いつもお買い上げいただきありがとうございます。お米のほか季節や地域の情報をお届けいたします。



春の農作業

3月に入り、ウグイスの声が聞こえてきました。すっかり陽気は『春』です。

そして、春の農繁期に入りました！農家の皆さんの米作りも、忙しくなっています。田おしが終わった田んぼは、次にくろ塗り(畦塗り)を行います。これは、田んぼの水が漏れないように畦(土手)に土の壁を塗りつけて、小さなヒビを防ぎ、モグラやケラが開けた穴を塞ぎ防水加工をする作業です。今はトラクターに専用の道具をつけて行っていますが、昔は鍬などを使い手で行う大変な作業でした。今でも機械が入らない狭い田んぼでは、手作業で行っています。種を蒔くための準備も行われています。まず、種もみの消毒。24時間から48時間消毒液に浸け、2日間くらい乾燥させます。その後、発芽させるために水に浸けます。期間は最低2週間。種が芽を出すのには、たっぷりの水分と酸素、適当な温度が必要です。乾いた種の1.2倍ぐらいの重さになるまで吸わせます。その間も、2～3日に一度水を入れ替え、もみに酸素を吸わせます。育苗箱の消毒も行います。



農家さんの中には、できるだけ農薬を使わないように、種もみの消毒に催芽機(さいがき)という機械を使う方もいらっしゃいます。この機械は、60℃まで上げたぬるま湯の中に種もみを10分くらいつけ殺菌するものです。泡でもみを循環させ、もみ全体が殺菌できるようになっています。その後、

温度を急激に冷やすために冷水に5分くらいつけ陰干しをして乾かします。あとは、同じように水を入れ替えながらつけておきます。

そして、浸けておいたもみが水を吸って、ほんの少し芽が出ると種蒔きになります。昔は手で蒔いていましたが、今は機械での流れ作業。ベルトコンベアに育苗箱を載せると、水稻専用の土が均一に入れられ、もみを蒔き、土をかぶせて完成。こうしてできた育苗箱は、育苗器へと移され発芽させます。田植えまであと1ヶ月。着々と準備が進んでいます。今年も豊作になることを祈ります。



裏面もご覧ください



★五つ星お米マイスターが厳選したおいしいお米をお召し上がり下さい★

竹ノ内米店《本社》千葉県富津市山中1254 《鴨川店》千葉県鴨川市池田327-1

お米のご注文は、こちらまで→ フリーダイヤル 0120-07-0334

インターネット販売 <http://www.takenouchikometen.com> ホームページもご覧ください。

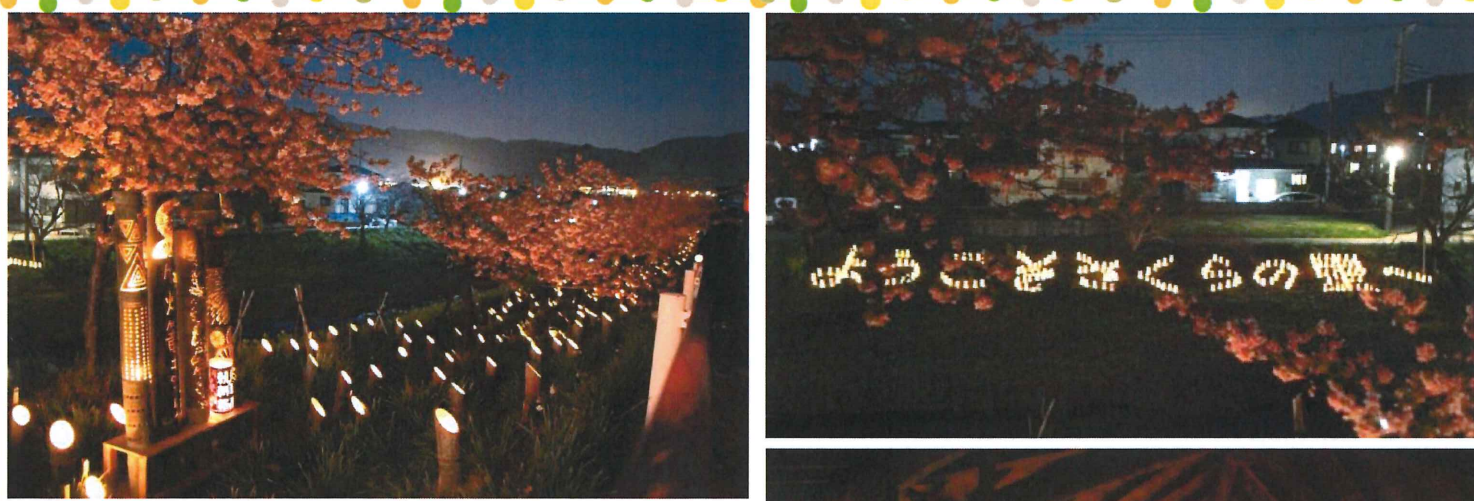
たけのうち便り Vol.61

平成28年3月15日発行

勝浦 ビッグひな祭り



勝浦ビッグひな祭りは、2月26日から3月6日まで行われていたイベントです。勝浦会場の中央商店街には、お店の外だけでなく中にも、ひな人形が飾られ、とても華やかでした。中でも遠見岬神社の60段飾りは、約1,500体の人形が飾られており、その様子を一目見ようとたくさんの観光客で賑わっていました。



花まつり開催中の鋸南町では、3月5日に竹灯籠まつりがありました。今年は暖冬の影響もあり、頼朝桜(河津桜)は見頃を過ぎてしまいましたが、それでも灯籠のほのかな明かりに照らされて、昼間とは違う雰囲気を出していました。近くにある「道の駅 保田小学校」でのイベントで作成された絵灯籠が、並べられ吊るされていました。

鋸南町 竹灯籠まつり

★五つ星お米マイスターが厳選したおいしいお米をお召し上がり下さい★

竹ノ内米店《本社》千葉県富津市山中1254 《鴨川店》千葉県鴨川市池田327-1

お米のご注文は、こちらまで→ フリーダイヤル 0120-07-0334

インターネット販売 <http://www.takenouchikometen.com> ホームページもご覧ください。